

平成30年第11回富山県教育委員会議事日程

10月22日（月）午後1時00分

教育委員会室

1 会議録の承認について

平成30年9月28日開催の平成30年第10回富山県教育委員会会議録の承認について

2 議決事項

議案第27号 平成30年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書(平成29年度分)の件

議案第28号 平成31年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件

議案第29号 平成31年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件

3 報告事項

(1) 「富山県教育フォーラム」の開催について

(2) 平成30年度「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの結果について

(3) 平成30年度「高志の国文学」情景作品コンクールの結果について

(4) 第73回国民体育大会の結果について

4 その他

今後の教育委員会等の日程について

5 議決事項

議案第30号 平成30年度教育功労者等表彰変更の件

議案第27号

平成30年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成29年度分）の件

教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書について、別添のとおりとし、県議会に提出するとともに、公表するものとする。

平成30年10月22日 提 出

富山県教育委員会
教育長 渋谷 克 人

7月17日教育委員協議会において配付した報告書（案）からの修正箇所

1 教育委員（鳥海委員）からの指摘を踏まえた追加・修正

全ての〔施策に関する指標〕の年度表記の修正など、5点を修正した。

2 「4 平成28年度事業に対する学識経験者からの意見」の追加

学識経験者3名からの意見を基本施策ごとに記載。(P.66～70)

3 その他の追加・修正

字句の訂正、レイアウト微調整など

議案第 28 号

平成 31 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件

平成 31 年度富山県立高等学校入学者募集要項を、次のように定める。

平成 30 年 10 月 22 日 提出

富山県教育委員会

教育長 渋谷 克 人

平成31年度富山県立高等学校入学者募集要項

第1 全日制の課程一般入学

1 募集定員

各高等学校の募集定員は、別表1の1の定員から推薦入学者選抜において合格内定の通知を受けた者の数を除いた人員とする。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を平成31年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

平成31年2月22日(金)から2月26日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月26日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月25日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。

4 志願の方法

- (1) 志願は、富山県立高等学校通学区域設定規則に定める通学区域内の1校1学科に限る。ただし、工業又は商業に関する学科を志願する者は、同一校のそれぞれの学科内に限り、第2順位まで志願することができる。

なお、第2順位を志願する場合は2つ以上にわたることができる。

- (2) 富山高等学校、富山中部高等学校、高岡高等学校の普通科又は理数科学科・人文社会科学科を志願する者は、同一校の理数科学科・人文社会科学科又は普通科に限り、第2順位まで志願することができる。この場合において、普通科を第2順位志願できるのは普通科の通学区域内の者に限る。また、南砺福光高等学校普通科又は国際科を志願する者は、同校の国際科又は普通科に限り、第2順位まで志願することができる。

- (3) 志願者は、所定の一般入学願書に 2,200円の入学考査手数料（一般入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、出身中学校長等に提出する。

中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

- (4) 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には一般入学願書に受検上の配慮申請書を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

- (5) 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、一般入学願書に自己申告書を添えて、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出することができる。

- (6) 帰国生徒としての志願に当たっては、一般入学願書に海外在住状況等説明書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、ここでいう帰国生徒とは、海外における在住期間が継続して2年以上の者で、志願時において帰国後3年以内の者等をいう。

- (7) 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、一般入学願書に外国人特別措置適用申請書を添えて、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

- (8) 普通科の通学区域外からの志願者は、次のいずれかの条件を備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。

ア 本人及びその保護者が近く当該通学区域内に居住することが確実であること。

イ その他特別な事情があること。

(9) 県外及び海外からの志願者は、県外及び海外の中学校又はこれに準ずる学校を、平成31年3月までに卒業する見込みの者又は卒業した者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。

ア 本人及びその保護者が本県内に居住していること。

イ 本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。

ウ 隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の高等学校に通学することが困難であること。

エ その他特別な事情があること。

(10) 中学校等には、校長を委員長とする選抜資料作成委員会を設ける。

(11) 中学校長等は、志願者の一般入学願書等を提出する際に、一般入学志願者名簿を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

5 受検票の交付

高等学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各高等学校長が定めるものとする。

6 学力検査

(1) 学力検査は、県下一斉に実施する。

(2) 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語（聞き取りテストを含む。）の5教科とし、各教科の配点は40点とする。

なお、英語聞き取りテストが中止となった場合、当該校では聞き取りテスト部分を除いて40点に換算する。

(3) 志願者は、志願した高等学校で学力検査を受けなければならない。

(4) 検査日は、平成31年3月7日(木)、3月8日(金)の2日間で、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

第 1 日	9:30までにおいて 各高等学校長が定める時間	9:30～10:20		10:40～11:30	11:50～12:40
3月7日(木)	出席調査及び諸準備	社 会		国 語	理 科
第 2 日	9:30までにおいて 各高等学校長が定める時間	9:30～9:45 ※	10:00～10:40	11:00～11:50	
3月8日(金)	出席調査及び諸準備	聞き取り	筆 記	数 学	
		英 語			

※ 英語聞き取りテストについては、9時30分から9時45分までの間に10分間程度で実施する。

- (5) 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

7 選抜の方法

- (1) 高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された調査書等の資料、学力検査の成績等に基づいて、各高等学校の当該学科の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜する。
- (2) 高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。
- (3) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書中の「学習の記録」の評定、「特別活動」の評価、その他の記録より算出した評定点（以下「調査書評定点」という。）と学力検査の成績とを対比し、同等に扱い、判定することを原則とする。ただし、調査書評定点又は学力検査の成績が、募集定員（推薦入学者選抜において合格内定の通知を受けた者の数を除いた数）の上位10%以内にある場合は、調査書評定点又は学力検査の成績の一方により、判定することができるものとする。
- (4) 高等学校長は、選抜に当たって、富山県教育委員会の承認を得て、専門学科及び普通科に設置されているコースの特色に応じて、調査書や学力検査の教科の配点の比重を変えることができる。
- (5) 高等学校長は、選抜に当たって、「学習の記録」の評定及び「特別活動」の評価を除く調査書中の他の記録についても審査する。
- (6) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合

には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

- (7) 高等学校長は、富山県教育委員会の承認を得て、各高等学校又は各高等学校の学科及びコースごとに、志願者に対し、面接や専門に関する実技検査等を行い、その結果を選抜の資料に加えることができる。
- (8) 高等学校長は、選抜に当たって、第1順位志願者を尊重するが、その学科における総合判定による順位の下位者よりも優れていると判定された第2順位志願者を合格させることができる。
- (9) 高等学校長は、上記(3)～(8)に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。
- (10) 高等学校長は、入学が適当と認められる者の数が募集定員に満たない場合には、富山県教育委員会と協議のうえ、合格者数を募集定員内にとどめることができる。
- (11) 帰国生徒の選抜に当たっては、高等学校長は、面接を実施し、その結果及び海外での経験等を十分考慮して行うものとする。

8 追検査

- (1) 次のア、イのいずれかに該当し、学力検査の第1日、第2日の両日の全日程又は第2日の全日程を欠席した者のうち、下記(2)又は(3)の手続を行ったうえで志願先高等学校長からの許可を得た者は、追検査を受検することができる。
 - ア インフルエンザ罹患等により別室における受検も困難な者
 - イ やむを得ない理由のある者
- (2) 追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、中学校長等を経て志願先高等学校長に連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書を平成31年3月11日(月)午後3時までに、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出する。
- (3) 県外及び海外からの志願者で追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、志願先高等学校長に直接連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書(県外及び海外からの志願者用)を所定の日時までに、志願先高等学校長に直接提出する。
- (4) 追検査は志願先高等学校において、平成31年3月12日(火)に、下に示す日

程によって行う。

9:30 までにおいて 各高等学校長が 定める時間	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	12:40～13:40 の間 において各高等学 校長が定める時間	13:40～13:55 ※	14:10～14:50	15:10～16:00
出席調査及び 諸準備	社 会	国 語	理 科	出席調査及び 諸準備	聞き取り	筆記	数 学
					英 語		

※ 英語聞き取りテストについては、13時40分から13時55分までの間に10分間程度で実施する。

(5) その他、上記5、6、7を準用する。

9 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

10 その他

- (1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。
- (2) 志願に当たって必要な書類は、富山県教育委員会から中学校等に配布する。
- (3) ここに定めるもののほか、一般入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

第2 全日制の課程推薦入学

1 対象学科及び募集人員

- (1) 全日制の課程の別表2に掲げる普通科に設置されている各コース、専門学科及び総合学科において、推薦入学を実施する。
- (2) 推薦入学による募集人員は、富山県教育委員会と協議のうえ、下記の範囲内で、各高等学校長が定める。
 - ・普通科に設置されている各コース<学級定員の50%以内>（ただし、呉羽高等学校普通科音楽コースは60%以内、水橋高等学校普通科体育コースは70%以内）
 - ・国際科及び国際交流科<募集定員の40%以内>
 - ・専門学科（国際科及び国際交流科を除く。）<募集定員の50%以内>
 - ・総合学科<募集定員の40%以内>

- (3) 推薦入学を実施する学校は、富山県教育委員会と協議のうえ、学科及びコースの特色に応じて、2の志願資格(4)におけるa、b、c、dの各項目別に募集人員等を明示することができる。

2 志願資格

県内の中学校又はこれに準ずる学校を平成31年3月に卒業する見込みの者で、次の(1)～(4)の条件を満たし、中学校長等の推薦を得た者で、合格内定となった場合は、当該高等学校への入学を確約できる者とする。

- (1) 当該学校、学科、コースを志望する動機が明白であり、目的意識を有すること。
- (2) 当該学校、学科、コースに関する興味・関心があり、適性を有すること。
- (3) 当該学校、学科、コースにおける各教科・科目の履修に必要な学力を有し、人物が優れていること。
- (4) 次のa、b、c、dいずれかに該当し、入学後の諸活動に成果が期待される者であること。
 - a 調査書の「学習の記録」が優良であること。
 - b 専門に関する優れた能力又は実績があること。
 - c 芸術、文化、体育のいずれかの分野において顕著な実績があること。
 - d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

3 志願期間

平成31年2月1日(金)から2月5日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月5日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月4日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。

4 志願の方法

- (1) 志願は、対象学科、コースのうち1校1学科又は1コースに限る。
- (2) 志願者は、所定の推薦入学願書に2,200円の入学考査手数料(推薦入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)を添え、中学校長等に提出す

る。

中学校長等は、これに本人の調査書及び推薦書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

- (3) 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には推薦入学願書に受検上の配慮申請書を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

- (4) 中学校等には、校長を委員長とする推薦委員会を設ける。推薦委員会は、推薦入学に関する事項を取り扱い、被推薦者の決定は校長が行う。
- (5) 中学校長等は、志願者の推薦入学願書等を提出する際に、推薦入学志願者名簿を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

5 受検票の交付

高等学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各高等学校長が定めるものとする。

6 選抜の方法

- (1) 推薦入学志願者については、面接を実施し、学力検査を行わない。
- (2) 高等学校長は、特に必要と認める場合は、志願者に作文、専門に関する実技検査等を課すことができる。
- (3) 高等学校長は、中学校長等から提出された調査書、推薦書等の書類並びに面接等の結果を資料として総合的に判定し、合格内定者を決定する。
- (4) 面接等は、平成31年2月12日(火)午前9時から、志願先高等学校において、当該高等学校長が定める日程によって行う。
- (5) 高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。
- (6) 高等学校長は、選抜に当たって、調査書、推薦書等に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富

山県教育委員会に照会することができる。

7 合格者の発表

(1) 合格内定の通知

ア 高等学校長は、推薦入学選考結果通知書を平成31年2月15日(金)の午前10時から正午までの間に投函^{かん}し、郵送することにより、選考結果を中学校長等に通知する。中学校長等の希望によっては、手交も可とする。

なお、合格内定者には、中学校長等を通じて合格内定通知書を交付する。

イ 合格内定の通知を受けた者は、他の公立高等学校を志願することができない。

(2) 合格者の発表

合格内定の通知を受けた者について、平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 合格内定とならなかった者の扱い

(1) 推薦入学に志願し、合格内定とならなかった者は、この募集要項に定める各課程の選抜についての手続により、改めて志願することができる。その際、志願先高等学校が全日制の課程の場合は、入学検査手数料が免除される。ただし、出願に当たっては、入学検査手数料減免申請書と入学検査手数料納入済証明書を一般入学願書に添付するものとする。

(2) 改めて志願する場合にも、一般入学願書に調査書を添えて提出するものとする。

9 その他

(1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。

(2) ここに定めるもののほか、推薦入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

第3 全日制の課程第2次選抜

1 第2次選抜実施校の決定

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校、

学科及び募集定員を決定し、平成31年3月18日(月)に発表する。

2 志願資格

志願できる者は、「第1 全日制の課程一般入学」の定めに基づいて志願し、5教科の学力検査を受検した者に限る。ただし、既に合格が決定した者は志願することができない。

3 志願期間

平成31年3月19日(火)及び3月20日(水)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(水)午後4時までに志願校に必着とする。

4 志願の方法

(1) 志願者は、所定の第2次選抜申請書を、出身中学校長等を経て、第2次選抜志願先高等学校長に提出する。

(2) 志願は、富山県立高等学校通学区域設定規則に定める通学区域内の1校1学科に限る。ただし、第2順位志願については、第1次選抜に準ずる。また、第1次選抜で志願した高等学校の同一学科を志願することはできない。

(3) 志願に際して、中学校長等は、第2次選抜志願先高等学校長に、第2次選抜志願者名簿を2部作成して添付する。第2次選抜志願先高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

また、中学校長等は、平成31年3月20日(水)午後4時までに、第1次選抜志願先高等学校長に、第2次選抜志願者名簿を2部作成して提出する。第1次選抜志願先高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

(4) 県外及び海外からの志願者で第2次選抜に志願する者は、所定の日時まで、第2次選抜志願先高等学校長に第2次選抜申請書を、第1次選抜志願先高等学校長に第2次選抜志願についての申請書をそれぞれ直接提出する。

5 学力検査

学力検査は、実施しない。

6 選抜の方法

(1) 第2次選抜志願先高等学校長は、第1次選抜志願先高等学校長から提出を受けた学力検査の成績と調査書等によって選抜する。

(2) 上記(1)のほか、「第1 全日制の課程一般入学」の7を準用する。

7 合格者の発表

平成31年3月26日(火)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 その他

第2次選抜合格者で、第1次選抜に志願した高等学校において補欠入学を認められた者は、第1次選抜志願先高等学校への入学を優先させる。

第4 定時制の課程（単位制前期）

1 募集定員

新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、小矢部園芸高等学校及びとなみ野高等学校の募集定員は、別表1の2のとおりとする。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

(1) 中学校又はこれに準ずる学校を平成31年3月に卒業する見込みの者

(2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

(3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 第1次選抜

(1) 志願期間

平成31年2月22日(金)から2月26日(火)までの間（日曜日及び土曜日を除く。）、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月26日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月25日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。

(2) 志願の方法

ア 志願は、県内の1校1学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の情報ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。

イ 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ 全日制の課程と重ねて志願することはできない。

エ 志願者は、所定の入学願書に950円の入学考査手数料（入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、出身中学校長等に提出する。中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先高等学校長に提出する。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

オ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には入学願書に受検上の配慮申請書を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

カ 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書を添えて、中学校長等を経て志願先高等学校長に提出することができる。

キ 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、入学願書に外国人特別措置適用申請書を添えて、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

ク 中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、入学志願者名簿を2部作成して添付する。高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

ケ 県外及び海外からの志願者も上記ア～クに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

(3) 検査

ア 検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ 志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。

ウ 検査は、平成31年3月7日(木)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

3月7日(木)	9:30~10:00	10:20~10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行うが、志願先高等学校長の判断で、面接を平成31年3月8日(金)に行うことができる。

検査で国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

(4) 選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査

成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

(5) 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

4 第2次選抜

(1) 第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員等

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員等を決定し、平成31年3月18日(月)に発表する。

(2) 志願期間

平成31年3月19日(火)及び3月20日(水)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、3月20日(水)午後4時までに志願校に必着とする。

(3) 志願の方法

ア 全日制の課程第2次選抜の志願資格を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

イ その他については、上記3の(2)ア、イ、エ、オ、キ、ク、ケの定めに従って行う。

(4) 検査

平成31年3月26日(火)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

3月26日(火)	9:30~10:00	10:20~10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

(5) 合格者の発表

平成31年3月27日(水)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

(6) その他

上記3の(3)、(4)の定めに準じて行う。

5 その他

- (1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表
掲示する。
- (2) 第2次選抜後も必要があれば、再度選抜を実施することができる。
- (3) ここに定めるもののほか、定時制の課程（単位制前期）入学者選抜に関し
必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長
がこれを定める。

第5 定時制の課程（単位制以外）

1 募集定員

富山工業高等学校定時制の課程の募集定員は、別表1の2のとおりとする。

2 志願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学
校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍してい
ない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を平成31年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 第1次選抜

(1) 志願期間

平成31年3月19日(火)及び3月20日(水)の両日とし、両日とも午前9時か
ら午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(水)午後4時まで
に富山工業高等学校に必着とする。

(2) 志願の方法

ア 志願は、富山工業高等学校定時制の課程の1学科に限る。ただし、同校
の定時制の課程内の他学科を第2順位まで志願することができる。

なお、第2順位を志願する場合は2つ以上にわたることができる。

イ 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ 全日制の課程第2次選抜の志願資格を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

エ 志願者は、所定の入学願書に950円の入学考査手数料（入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、出身中学校長等に提出する。

中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、富山工業高等学校長に提出する。

なお、富山工業高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

オ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願前に志願先高等学校長に連絡し、出願時には入学願書に受検上の配慮申請書を添えて提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

カ 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、入学願書に外国人特別措置適用申請書を添えて、出身中学校長等を通じて、富山工業高等学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

キ 中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、入学志願者名簿を2部作成して添付する。富山工業高等学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

ク 県外及び海外からの志願者も上記ア～キに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

(3) 検査

ア 検査は、作文及び面接とする。ただし、富山工業高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ 志願者は、富山工業高等学校で検査を受けなければならない。

ウ 検査は、平成31年3月26日(火)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。

3月26日(火)	9:30~10:00	10:20~10:50	学力検査後
	国語又は富山工業高等学校長が定める1教科	数学又は富山工業高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。

検査で国語と数学のどちらか1教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、富山工業高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。

ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

(4) 選抜の方法

富山工業高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

(5) 合格者の発表

平成31年3月27日(水)午後0時30分に、富山工業高等学校において受検番号で行う。

4 第2次選抜

(1) 富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学科及び募集定員等を決定し、平成31年3月27日(水)に、富山工業高等学校において発表する。

- (2) 志願期間は、平成31年3月27日(水)及び3月28日(木)の両日とし、3月27日(水)は午後1時から午後4時まで、3月28日(木)は午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願は不可とする。

- (3) 検査については、富山工業高等学校長が日程を定め、志願者に通知する。
(4) その他、上記3の(2)、(3)、(4)の定めに準じて行う。
(5) 合格者の発表については、富山工業高等学校長が定める。

5 その他

- (1) 富山工業高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表掲示する。
(2) ここに定めるもののほか、定時制の課程(単位制以外)入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

第6 定時制の課程(単位制後期)

1 募集人員

募集は、新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校及びとなみ野高等学校において行い、各高等学校の募集人員は、平成31年5月以降に別途示す。

2 志願資格

次の(1)又は(2)に該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校(以下「高等学校等」という。)のいずれにも在籍していない者、及び過去に高等学校等で単位を修得していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
(2) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

平成31年9月2日(月)から9月4日(水)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月4日(水)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、9月3日(火)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。

4 志願の方法

- (1) 志願は、県内の1校1学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の情報ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。
- (2) 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。
- (3) 志願者は、所定の入学願書に950円の入学考査手数料（入学願書に富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）を添え、志願先高等学校長に提出する。

また、志願者は、中学校長等に調査書発行申請書を提出する。中学校長等は、志願者からの申請を受けて、9月4日(水)正午までに、本人の調査書を志願先高等学校長に提出する。出願及び調査書の提出について、郵送による場合は、書留速達とする。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

- (4) 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書を添えて、志願先高等学校長に提出することができる。
- (5) 県外及び海外からの志願者も上記(1)～(4)に基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

5 検査

- (1) 検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。
- (2) 志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。
- (3) 検査は、平成31年9月11日(水)に行う。国語と数学のどちらか1教科又は

両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合は、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

9月11日(水)	9:30~10:00	10:20~10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める1教科	数学又は各高等学校長が定める1教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長の定める日程によって行う。

6 選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

7 合格者の発表

平成31年9月13日(金)午後0時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

8 その他

- (1) 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後4時現在で発表掲示する。
- (2) 各学校の実施概要については、募集人員とともに、平成31年5月以降に別途示す。
- (3) ここに定めるもののほか、定時制の課程(単位制後期)入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

第7 通信制の課程

1 募集定員

募集定員は、別表1の3のとおりとする。

2 志願資格

次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学

校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を平成31年3月に卒業する見込みの者
- (2) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

平成31年3月19日(火)及び3月20日(水)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月20日(水)午後4時までに雄峰高等学校に必着とする。

4 志願の方法

(1) 他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

(2) 志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。

ア 雄峰高等学校において交付する入学願書（入学考査手数料 460円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。）

イ 調査書（ただし、平成25年3月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる。）

ウ 雄峰高等学校衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し

(3) 雄峰高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその提出を求めることができる。

5 検査

(1) 検査は、面接等とする。

(2) 検査は、平成31年3月26日(火)午前9時から、雄峰高等学校において行う。

6 選抜の方法

雄峰高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、面

接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

7 合格者の発表

平成31年3月27日(水)午後0時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。

8 第2次募集

(1) 上記1、2、4、6の定めに準じて行う。

(2) 志願期間は、平成31年3月27日(水)及び3月28日(木)の両日とし、3月27日(水)は午後1時から午後4時まで、3月28日(木)は午前9時から午後4時までとする。郵送による出願は不可とする。

なお、事情によっては、締切期日後でも受け付けることがある。

(3) 面接等の実施は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。

第8 富山県立中央農業高等学校専攻科

1 募集定員

募集定員は、別表1の4のとおりとする。

2 志願資格

<担い手育成コース>

高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は平成31年3月に卒業する見込みの者で、次の各条件を備えた者

(1) 耕地や家畜等、相当規模の経営実習のできる基盤を有し、卒業と同時に農業経営に取り組むことのできる者又はこれに準ずる者

(2) 農業経営を継続し発展させようとする意欲が旺盛で、出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦を受けた者

<庭園コース>

高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、庭園管理や野菜・草花の栽培等に興味・関心の高い者

3 志願期間

平成30年11月26日(月)から12月6日(木)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、12月6日(木)は正午

までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、12月6日(木)正午までに中央農業高等学校に必着とする。

4 志願の方法

入学志願者は、次の書類を中央農業高等学校長に提出する。

<担い手育成コース>

(1) 入学願書(学校所定のもの)

(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)

(2) 履歴書(学校所定のもの)

(3) 卒業見込み証明書又は卒業証明書

(4) 営農状況調査書(学校所定のもの)

(5) 出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの)

<庭園コース>

(1) 入学願書(学校所定のもの)

(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)

(2) 履歴書(学校所定のもの)

5 選抜の方法

<担い手育成コース>

中央農業高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接、作文等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、特に必要と認めた場合は、学力検査(農業に関する科目の範囲)を行うことがある。

<庭園コース>

中央農業高等学校長は、入学志願者から提出された資料及び面接、作文、実技（簡易作図）の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文及び実技は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

6 合格者の発表

平成30年12月21日（金）午後0時30分に、中央農業高等学校において受検番号で行う。

7 第2次募集

(1) 第1次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記1、2、4、5の定めに準じて第2次募集を実施する。

(2) 第2次募集を実施する場合、志願期間は、平成31年2月28日（木）から3月11日（月）までの間（日曜日及び土曜日を除く。）、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、3月11日（月）は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、3月11日（月）正午までに中央農業高等学校に必着とする。

第9 富山県立富山いずみ高等学校専攻科

1 募集定員

募集定員は、別表1の4のとおりとする。

2 志願資格

富山いずみ高等学校看護科を卒業した者

3 その他

入学者募集の詳細については、富山いずみ高等学校長が別に定める。

第10 富山県立雄峰高等学校専攻科

1 募集定員

募集定員は、別表1の4のとおりとする。

2 志願資格

(1) 高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は平成31年3月に卒業する

見込みの者

(2) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 志願期間

平成30年12月18日(火)から12月21日(金)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、12月21日(金)午後4時までに雄峰高等学校に必着とする。

4 志願の方法

(1) 入学志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。

ア 雄峰高等学校において交付する入学願書(入学考査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)

イ 学業成績証明書(高等学校等調査書又は成績証明書)

ウ 上記イで成績証明書を提出した者のみ卒業証明書

(2) 午前部・午後部については、第2順位まで志願することができる。

5 選抜の方法

雄峰高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、雄峰高等学校長は、特に必要と認めた場合は、作文を行うことができる。

6 合格者の発表

平成31年1月18日(金)午後0時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。

7 第2次募集

(1) 第1次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記1、2、4、5の定めに準じて第2次募集を実施する。

(2) 第2次募集を実施する場合の志願期間は、平成31年2月22日(金)及び2月25日(月)の両日とし、両日とも午前9時から午後4時までとする。

第11 富山県立小矢部園芸高等学校専攻科

1 募集定員

募集定員は、別表1の4のとおりとする。

2 志願資格

- (1) 高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は平成31年3月に卒業する見込みの者
- (2) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力を持ち、園芸・造園に関する高度な知識、技術の習得を希望する者

3 志願期間

平成31年2月14日(木)から2月19日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月19日(火)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、2月18日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。

4 志願の方法

入学志願者は、次の書類を小矢部園芸高等学校長に提出する。

- (1) 小矢部園芸高等学校において交付する入学願書(入学審査手数料として2,200円の富山県収入証紙を貼り、消印をしない。)
- (2) 高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等
- (3) 履歴書

5 選抜の方法

小矢部園芸高等学校長は、面接、作文等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文は、平成31年3月11日(月)に小矢部園芸高等学校において行う。

また、小矢部園芸高等学校長は、特に必要と認めた場合は、学力検査(農業に関する科目の範囲)を行うことができる。

6 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、小矢部園芸高等学校において受検番

号で行う。

第12 その他

この募集要項の施行について必要な事項は、別に定めるものとする。

別表 1

平成31年度富山県立高等学校第1学年募集定員

1 全日制の課程

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	
		学 級	定 員
泊	普 通	3	120
入 善	普 通 業 農	3	120
		1	30
桜 井	普 通 木 土 環 境 生 活 環 境	3	120
		1	40
		1	40
魚 津	普 通	4	160
魚 津 工 業	機 械 工 学 電 気 工 学 情 報 環 境	2	80
		1	40
		1	40
滑 川	普 通 業 薬 商 業 商 海 洋	2	80
		1	40
		1	40
		1	40
上 市	総 合	4	160
雄 山	普 通 文 化 生 活 文 化	3	120
		1	40
中 央 農 業	生 物 生 産 園 芸 デ ザ イ ン バ イ オ 技 術	3	90
八 尾	普 通	4	160
富 山 西	普 通	4	160
富 山	普 通 科 学 理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	5	200
		2	80

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	
		学 級	定 員
富 山 中 部	普 通 科 学 理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	5	200
		2	80
富 山 北 部	普 通 科 学 く す り ・ バ イ オ 情 報 デ ザ イ ン	3	120
		1	40
		1	40
富 山 工 業	機 械 工 学 電 子 機 械 工 学 金 属 工 学 電 気 工 学 建 築 工 学 土 木 工 学	2	80
		1	40
		1	40
		2	80
		1	40
富 山 商 業	流 通 経 済 国 際 経 済 会 社 計 理 情 報 処 理	2	80
		1	40
		2	80
		2	80
富 山 い ず み	総 合 護 看 護	4	160
		1	40
富 山 東	普 通	6	240
富 山 南	普 通	5	200
水 橋	普 通	3	120
呉 羽	普 通	6	230
小 杉	総 合	3	120
大 門	普 通	3	120
新 湊	普 通 業 商	3	120
		1	40

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	
		学 級	定 員
高 岡	普 通	5	200
	理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	2	80
高 岡 西	普 通	3	120
高 岡 工 芸	機 械	1	40
	電 子 機 械	1	40
	電 気	1	40
	建 築	1	40
	土 木 環 境	1	40
	工 芸	1	30
	デ ザ イン ・ 絵 画	1	40
高 岡 商 業	流 通 経 済	2	80
	国 際 経 済	1	40
	会 計	1	40
	情 報 処 理	1	40
伏 木	国 際 交 流	3	120
高 岡 南	普 通	4	160
福 岡	普 通	3	120
氷 見	普 通	3	120
	農 業 科 学	1	40
	海 洋 科 学	1	40
	ビ ジ ネ ス 生 活 福 祉	1	40
砺 波	普 通	4	160
砺 波 工 業	機 械	2	80
	電 気	1	40
	電 子	1	40
南 砺 福 野	普 通	3	120
	農 業 環 境	1	30
	福 祉	1	30

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	
		学 級	定 員
南 砺 平	普 通	1	31
南 砺 福 光	普 通 際	2	80
		1	30
石 動	普 通 業	3	120
		1	40
合 計		172	6,781

(注)

・ 桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受入枠とする。

2 定時制の課程

学 校 名	学 科 名	募 集	
		定 員	備 考
新川みどり野	普 通 福 祉 教 養	約 1 2 0	} 単位制
		約 4 0	
富 山 工 業	機 械	約 4 0	
	電 気	約 4 0	
	生 産 機 械	約 4 0	
雄 峰	普 通	約 2 0 0	} 単位制
	情 報 ビジネス	約 4 0	
	生 活 文 化	約 4 0	
志 貴 野	普 通	約 8 0	} 単位制
	国 際 教 養	約 4 0	
	情 報 ビジネス	約 8 0	
	生 活 文 化	約 4 0	
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 4 0	単位制
と な み 野	普 通 総 合 福 祉	約 8 0	} 単位制
		約 4 0	
合 計		約 9 6 0	

3 通信制の課程

学 校 名	学 科 名	募 集	
		定 員	備 考
雄 峰	普 通 衛 生 看 護	約 3 0 0	単位制
合 計		約 3 0 0	

4 専攻科

学 校 名	学 科 名	募 集	
		定 員	備 考
中 央 農 業	農 業 ・担い手育成コース ・庭園コース	約 1 0	
		約 1 0	
富 山 い ず み	看 護	4 0	富山いずみ高校看護科卒業者を対象とする。
雄 峰	生 活 科 学 ・調理師養成課程	6 0	
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 4 0	
合 計		約 1 6 0	

別表 2

平成 31 年度全日制の課程推薦入学対象学科等

学科等区分	学 科 ・ コ ー ス 名
普通（コース）	泊 高 校（観光ビジネス）、入 善 高 校（自然科学）、 八 尾 高 校（福 祉）、富 山 東 高 校（自然科学）、 富 山 南 高 校（国 際）、水 橋 高 校（体 育）、 呉 羽 高 校（音 楽）、大 門 高 校（情 報）、 高 岡 西 高 校（人間福祉）、高 岡 南 高 校（人文科学）、 福 岡 高 校（英 語）
国 際	国際科、国際交流科
農 業	農業科、生物生産科、園芸デザイン科、バイオ技術科、 農業科学科、農業環境科
水 産	海洋科、海洋科学科
工 業	機械科、機械工学科、電子機械科、電子機械工学科、 金属工学科、電気科、電気工学科、電子科、情報環境科、 建築科、建築工学科、土木科、土木工学科、土木環境科、 工芸科、デザイン・絵画科、薬業科、くすり・バイオ科
商 業	商業科、ビジネス科、流通経済科、国際経済科、会計科、 情報処理科、情報デザイン科
家 庭	生活文化科、生活環境科、生活福祉科
看 護	看護科
福 祉	福祉科
総 合	総合学科

議案第29号

平成31年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件
平成31年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項を、次のように定める。

平成30年10月22日 提出

富山県教育委員会

教育長 渋谷 克人

平成31年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項

第1 高等部A日程の第1次選抜

1 募集定員

高等部A日程の募集定員は、別表1のとおりとする。

2 志願資格

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、公共交通機関等を利用して自力通学ができる等障害の程度が軽度の者で、保護者とともに県内に居住し、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者

- (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者

3 志願期間

平成31年1月30日(水)から2月1日(金)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月1日(金)は、正午までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、1月31日(木)正午までの消印のあるものに限り、受け付ける。

4 志願の方法

- (1) 志願は、高等部A日程の1校1学科に限る。

- (2) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談を受けるものとする。
- (3) 志願者は、所定の入学願書を出身中学校長等に提出する。出身中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先特別支援学校長に提出する。
- (4) 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出身中学校長等を通じて出願前に志願先特別支援学校長に連絡する。配慮内容は、志願先特別支援学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。
- (5) 中学校等の第2学年、第3学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書を添えて、出身中学校長等を経て志願先特別支援学校長に提出することができる。
- (6) 外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、入学願書に外国人特別措置適用申請書を添えて、出身中学校長等を通じて、志願先特別支援学校長に提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後6年以内の外国籍を有する者とする。

- (7) 県外及び海外からの志願者は、学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、公共交通機関等を利用して自力通学ができる等障害の程度が軽度の者かつ県外及び海外の中学校又は特別支援学校中学部を平成31年3月までに卒業する見込みの者、卒業した者又はこれに準ずる者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。

ア 本人及びその保護者が本県内に居住していること。

イ 本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。

ウ 隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の特別支援学校に通学することが困難であること。

エ その他特別な事情があること。

(8) 出身中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、第1次選抜入学志願者名簿を2部作成して添付する。志願先特別支援学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として出身中学校長等に返却する。

5 受検票の交付

特別支援学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各特別支援学校長が定めるものとする。

6 入学検査

(1) 入学検査は、県下一斉に行う。

(2) 入学検査の内容は、学力検査（国語及び数学）、作業能力検査、面接とし、配点は、学力検査 100点（国語50点、数学50点）、作業能力検査50点とする。

(3) 志願者は、志願した特別支援学校で入学検査を受けなければならない。

(4) 検査日は、平成31年2月9日(土)とし、下に示す日程によって行う。

ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合、特別支援学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

2月9日 (土)	9:00～ 出席調査及び諸準備	9:30～ 10:00 国語	10:20～ 10:50 数学	11:10～ 12:40 作業能力検査	12:40～ 13:20 昼食	13:20～ 面接
-------------	--------------------	----------------------	-----------------------	---------------------------	-----------------------	--------------

(5) 外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

7 選抜の方法

(1) 特別支援学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。

(2) 特別支援学校長は、選抜に当たって、調査書中の「学習状況」及びその他の記録について審査する。

(3) 特別支援学校長は、選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

(4) 特別支援学校長は、入学志願者について出身中学校長等から提出された調

査書等の資料、入学検査の成績等に基づき、総合的に判断して合格者を決定する。

- (5) 特別支援学校長は、入学が適当と認められる者の数が募集定員に満たない場合には、富山県教育委員会と協議のうえ、合格者数を募集定員内にとどめることができる。

8 合格者の発表

平成31年2月15日(金)午後0時30分に、各志願先特別支援学校において受検番号で行う。

9 その他

- (1) 特別支援学校長は、志願期間中、志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。
- (2) 志願に当たって必要な書類は、富山県教育委員会から中学校長等に配付する。
- (3) 第1次選抜合格者は、入学を辞退した場合を除いて、他の県立高等学校の全日制の課程、定時制の課程、通信制の課程及び県立特別支援学校高等部を志願することはできない。
- (4) ここに定めるもののほか、高等部A日程の第1次選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

第2 高等部A日程の第2次選抜

1 第2次選抜実施校の決定

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校、学科及び募集定員を決定し、平成31年2月15日(金)に発表する。

2 志願資格

志願できる者は、「第1 高等部A日程の第1次選抜」の定めに基づいて志願し、入学検査を受検した者に限る。ただし、既に合格が決定した者は志願することができない。

3 志願期間

平成31年2月22日(金)から2月26日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月26日(火)は正午までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、2月26日(火)正午までに志願先特別支援学校に必着とする。

4 志願の方法

- (1) 志願は、高等部A日程の1校1学科に限る。ただし、高等部A日程の第1次選抜で志願した特別支援学校を志願することはできない。
- (2) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談を受けるものとする。
- (3) 志願者は、所定の第2次選抜申請書を、出身中学校長等を経て、第2次選抜志願先特別支援学校長に提出する。
- (4) 志願に際して、出身中学校長等は、第2次選抜志願先特別支援学校長に、第2次選抜志願者名簿を2部作成して添付する。第2次選抜志願先特別支援学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として出身中学校長等に返却する。

また、出身中学校長等は、平成31年2月26日(火)正午までに、第1次選抜志願先特別支援学校長に、第2次選抜志願者名簿を2部作成して提出する。第1次選抜志願先特別支援学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として出身中学校長等に返却する。

- (5) 県外及び海外からの志願者で第2次選抜に志願する者は、所定の日時まで、第2次選抜志願先特別支援学校長に第2次選抜申請書を、第1次選抜志願先特別支援学校長に第2次選抜志願についての申請書をそれぞれ直接提出する。

5 受検票の交付

特別支援学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各特別支援学校長が定めるものとする。

6 入学検査

- (1) 入学検査の内容は、面接とする。

- (2) 志願者は、志願した特別支援学校で入学検査を受けなければならない。
- (3) 検査日は、平成31年3月7日(木)とし、各特別支援学校長が定める日程によって行う。

7 選抜の方法

- (1) 第2次選抜志願先特別支援学校長は、第1次選抜志願先特別支援学校長から提出を受けた入学検査の成績と調査書等の資料、面接の結果に基づき、総合的に判断して合格者を決定する。
- (2) 上記(1)のほか、「第1 高等部A日程の第1次選抜」の7を準用する。

8 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先特別支援学校において受検番号で行う。

9 その他

- (1) 特別支援学校長は、志願期間中、志願者数を毎日午後2時現在で発表掲示する。
- (2) 第2次選抜合格者で、第1次選抜に志願した特別支援学校において補欠入学を認められた者は、第1次選抜志願先特別支援学校への入学を優先させる。
- (3) ここに定めるもののほか、高等部A日程の第2次選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

別表 1

平成31年度富山県立特別支援学校高等部A日程募集定員等

学校名	学科名	障害種別	修業年限	募集定員
富山高等支援学校	生産・サービス科	知的障害	3	24
高岡高等支援学校	生産・サービス科	知的障害	3	24
富山聴覚総合支援学校	福祉・サービス科	知的障害	3	8
高岡聴覚総合支援学校	福祉・サービス科	知的障害	3	8
富山総合支援学校	産業工芸科	知的障害	3	8
	生活文化科	知的障害	3	

第3 高等部B日程の第1次選抜

1 募集人員（定員）及び志願資格

高等部B日程の募集人員（定員）及び志願資格は、別表2のとおりとする。

2 志願期間

平成31年2月22日（金）から2月26日（火）までの間（日曜日及び土曜日を除く。）、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月26日（火）は、正午までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、2月25日（月）正午までの消印のあるものに限り、受け付ける。

3 志願の方法

- (1) 志願は、高等部B日程の1校1学科に限る。
- (2) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談を受けるものとする。
- (3) 志願者は、所定の入学願書と診断書（視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者及び病弱者に限る。）を出身中学校長等に提出する。出身中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先特別支援学校長に提出する。
- (4) 専攻科志願者は、所定の入学願書、調査書（調査書の提出が不可能と認められる場合は、卒業証明書。）及び診断書を志願先特別支援学校長に提出する。
- (5) 訪問教育志願者は、所定の入学願書と診断書を在籍中学校長等に提出する。在籍中学校長等は、これに本人の調査書を添えて、志願先特別支援学校長に提出する。
- (6) 県外及び海外からの志願者は、別表2の志願資格に該当する者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。
 - ア 本人及びその保護者が本県内に居住していること。
 - イ 本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。
 - ウ 隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の特別支援学校に通学することが困難であること。
 - エ その他特別な事情があること。

(7) 出身中学校長等は、志願者の入学願書等を提出する際に、入学志願者名簿を2部作成して添付する。志願先特別支援学校長は、このうち1部を押印のうえ、受領証として出身中学校長等に返却する。

4 受検票の交付

特別支援学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各特別支援学校長が定めるものとする。

5 入学検査

(1) 入学検査の内容は、別表2のとおりとする。

(2) 入学検査は、志願先特別支援学校において行う。

(3) 検査日は、平成31年3月7日(木)とする。日程は、下記を標準として、各特別支援学校長が定める。

ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、予定した日程での実施が困難な場合、特別支援学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

3月7日 (木)	9:00~9:40	9:40~12:00
	出席調査及び諸準備	学力検査・面接

6 選抜の方法

(1) 特別支援学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。

(2) 特別支援学校長は、選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

(3) 特別支援学校長は、入学志願者について出身中学校長等から提出された調査書等の資料、入学検査の成績等に基づき、総合的に判断して合格者を決定する。

7 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先特別支援学校において受検番号で行う。

8 その他

- (1) 志願に当たって必要な書類は、志願者の出身中学校長等の申請により、志願先特別支援学校長から出身中学校長等に送付する。
- (2) 高等部B日程の第1次選抜合格者で、高等部A日程の第1次選抜に志願した特別支援学校において補欠合格を認められた者は、高等部A日程の志願先特別支援学校への入学を優先させる。
- (3) 特別支援学校長は、各特別支援学校長の定めるところにより、入学検査当日における保護者の同伴を求めることができる。

第4 高等部B日程の第2次選抜

1 第2次選抜実施校の決定

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校、学科及び募集人員（定員）を決定し、平成31年3月18日（月）に発表する。

2 志願資格

志願できる者は、別表2の志願資格を有する者で、他の県立高等学校及び県立特別支援学校の合格が決定した者を除く。

3 志願期間

平成31年3月19日（火）及び3月20日（水）の、毎日午前9時から午後4時までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、3月20日（水）午後4時までに志願先特別支援学校に必着とする。

4 志願の方法

「第3 高等部B日程の第1次選抜」の3を準用する。

5 受検票の交付

特別支援学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各特別支援学校長が定めるものとする。

6 入学検査

- (1) 入学検査の内容は、学力検査、面接など志願先特別支援学校長の定めるものとする。
- (2) 入学検査は、志願先特別支援学校において行う。

(3) 検査日は、平成31年3月25日(月)とし、各特別支援学校長が定める日程によって行う。

7 選抜の方法

「第3 高等部B日程の第1次選抜」の6を準用する。

8 合格者の発表

平成31年3月26日(火)午後0時30分に、各志願先特別支援学校において受検番号で行う。

9 その他

(1) 志願に当たって必要な書類は、志願者の出身中学校長等の申請により、志願先特別支援学校長から出身中学校長等に送付する。

(2) 特別支援学校長は、各特別支援学校長の定めるところにより、入学検査当日における保護者の同伴を求めることができる。

別表2

平成31年度富山県立特別支援学校高等部B日程募集人員(定員)等

学校名	学科等	障害種別	修業年限	募集人員(定員)	志 願 資 格	入学検査内容
富山視覚総合支援学校	普通	視覚障害	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数)面接
		病弱	3	8	学校教育法施行令第22条の3に該当する病弱者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数)面接

富山視覚総合支援学校	保健医療	視覚障害	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者のうち、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接	
	専攻科	理療	視覚障害	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校高等部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接
		保健医療	視覚障害	3	約10		
富山聴覚総合支援学校	産業工芸	聴覚障害	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者のうち、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接	
	生活情報	聴覚障害	3				
	機械	聴覚障害	3				
	専攻科	産業工芸	聴覚障害	2	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校高等部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接
		生活情報	聴覚障害	2			
機械		聴覚障害	2				
高岡聴覚総合支援学校	機械	聴覚障害	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者のうち、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接	
	生活情報	聴覚障害	3				
にいかわ総合支援学校	産業技術	知的障害	3	約20	学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接	
		肢体不自由	3				学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者のうち、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者

に い か わ 総 合 支 援 学 校	生 活 文 化	知 的 障 害	3	学 校 教 育 法 施 行 令 第 22 条 の 3 に 該 当 す る 知 的 障 害 者 の う ち、 次 の (1)~(3) の い ず れ か に 該 当 す る 者 で あ っ て、 現 在、 高 等 学 校、 中 等 教 育 学 校 の 後 期 課 程、 特 別 支 援 学 校 高 等 部、 高 等 専 門 学 校 の い ず れ に も 在 籍 し て い な い 者 (1) 中 学 校 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (2) 特 別 支 援 学 校 中 学 部 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (3) 上 記 (1) 又 は (2) に 準 ず る 者	学 力 検 査 (国、 数) 面 接
		肢 体 不 自 由	3		学 校 教 育 法 施 行 令 第 22 条 の 3 に 該 当 す る 肢 体 不 自 由 者 の う ち、 次 の (1)~(3) の い ず れ か に 該 当 す る 者 で あ っ て、 現 在、 高 等 学 校、 中 等 教 育 学 校 の 後 期 課 程、 特 別 支 援 学 校 高 等 部、 高 等 専 門 学 校 の い ず れ に も 在 籍 し て い な い 者 (1) 中 学 校 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (2) 特 別 支 援 学 校 中 学 部 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (3) 上 記 (1) 又 は (2) に 準 ず る 者
	訪 問 教 育	肢 体 不 自 由 知 的 障 害	3		若 干 名
し ら と り 支 援 学 校	産 業 技 術	知 的 障 害	3	学 校 教 育 法 施 行 令 第 22 条 の 3 に 該 当 す る 知 的 障 害 者 の う ち、 次 の (1)~(3) の い ず れ か に 該 当 す る 者 で あ っ て、 現 在、 高 等 学 校、 中 等 教 育 学 校 の 後 期 課 程、 特 別 支 援 学 校 高 等 部、 高 等 専 門 学 校 の い ず れ に も 在 籍 し て い な い 者 (1) 中 学 校 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (2) 特 別 支 援 学 校 中 学 部 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (3) 上 記 (1) 又 は (2) に 準 ず る 者	学 力 検 査 (国、 数) 面 接
	生 活 文 化	知 的 障 害	3		
高 岡 支 援 学 校	産 業	知 的 障 害	3	学 校 教 育 法 施 行 令 第 22 条 の 3 に 該 当 す る 知 的 障 害 者 の う ち、 次 の (1)~(3) の い ず れ か に 該 当 す る 者 で あ っ て、 現 在、 高 等 学 校、 中 等 教 育 学 校 の 後 期 課 程、 特 別 支 援 学 校 高 等 部、 高 等 専 門 学 校 の い ず れ に も 在 籍 し て い な い 者 (1) 中 学 校 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (2) 特 別 支 援 学 校 中 学 部 を 卒 業 し た 者 又 は 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 (3) 上 記 (1) 又 は (2) に 準 ず る 者	学 力 検 査 (国、 数) 面 接
	生 活 文 化	知 的 障 害	3		
	訪 問 教 育	知 的 障 害	3	若 干 名	特 別 支 援 学 校 中 学 部 を 平 成 31 年 3 月 卒 業 見 込 み の 者 で、 次 の (1)~(2) の い ず れ か に 該 当 す る 者 (1) 訪 問 教 育 を 受 け て お り、 引 き 続 き 訪 問 教 育 を 必 要 と す る 者 (2) 障 害 の 重 度・ 重 複 化 に よ り 通 学 が 困 難 に な り、 訪 問 教 育 が 必 要 に な る と 見 込 ま れ る 者

と な み 綜 合 支 援 学 校	産業技術	知的障害	3	約20	学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査 (国、数) 面接	
		肢体不自由	3		学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査 (国、数) 面接	
	生活文化	知的障害	3		学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査 (国、数) 面接	
		肢体不自由	3		学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査 (国、数) 面接	
	訪問教育	知的障害 肢体不自由	3		若干名	特別支援学校中学部を平成31年3月卒業見込みの者で、次の(1)~(2)のいずれかに該当する者 (1) 訪問教育を受けており、引き続き訪問教育を必要とする者 (2) 障害の重度・重複化により通学が困難になり、訪問教育が必要になると見込まれる者	面接
	富山総合支援学校	産業工芸	肢体不自由		3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者のうち、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者
生活文化		肢体不自由	3				

富山総合支援学校	訪問教育	肢体不自由	3	若干名	特別支援学校中学部を平成31年3月卒業見込みの者で、次の(1)~(2)のいずれかに該当する者 (1) 訪問教育を受けており、引き続き訪問教育を必要とする者 (2) 障害の重度・重複化により通学が困難になり、訪問教育が必要になると見込まれる者	面接
高志支援学校	普通	肢体不自由	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者のうち、 ・ 本校については、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターに入所している者若しくは入所する見込みの者又は富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの外来で訓練を受けている者若しくは訓練を受ける見込みの者 ・ 高等部こまどり分教室については、高岡市きずな子ども発達支援センターの外来で訓練を受けている者又は訓練を受ける見込みの者 で、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接
ふるさと支援学校	普通	病弱	3	約10	学校教育法施行令第22条の3に該当する病弱者のうち、国立病院機構富山病院に入院している者又は入院する見込みの者で、次の(1)~(3)のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者 (1) 中学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校中学部を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者 (3) 上記(1)又は(2)に準ずる者	学力検査(国、数) 面接
	訪問教育	病弱	3	若干名	特別支援学校中学部を平成31年3月卒業見込みの者のうち、国立病院機構富山病院に入院している者若しくは入院する見込みの者又は通院している者若しくは通院する見込みの者で、次の(1)~(2)のいずれかに該当する者 ただし、通院については、国立病院機構富山病院が放課後等デイサービス事業を実施する場合に、同事業を利用している者又は利用する見込みの者に限る。 (1) 訪問教育を受けており、引き続き訪問教育を必要とする者 (2) 障害の重度・重複化により通学が困難になり、訪問教育が必要になると見込まれる者	面接

第5 幼稚部

1 募集人員及び志願資格

幼稚部の募集人員及び志願資格は、別表3のとおりとする。

2 志願期間

平成31年2月22日(金)から2月26日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除

く。) 、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、2月26日(火)は、正午までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、2月25日(月)正午までの消印のあるものに限り、受け付ける。

3 志願の方法

- (1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談を受けるものとする。
- (2) 志願者の保護者は、所定の入学願書、調査書及び診断書を志願先特別支援学校長に提出する。
- (3) 県外及び海外からの志願者は、別表3の志願資格に該当する者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。
 - ア 本人及びその保護者が本県内に居住していること。
 - イ 本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。
 - ウ 隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の特別支援学校に通学することが困難であること。
 - エ その他特別な事情があること。

4 受検票の交付

特別支援学校長は、志願者に受検票を交付する。交付の日時は、各特別支援学校長が定めるものとする。

5 入学検査

- (1) 入学検査の内容は、別表3のとおりとする。
- (2) 入学検査は、志願先特別支援学校において行う。
- (3) 志願者は、保護者同伴で入学検査に臨むものとする。
- (4) 検査日は、平成31年3月7日(木)とする。日程は、下記を標準として、各特別支援学校長が定める。

ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、予定した日程での実施が困難な場合、特別支援学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

3月7日(木)	9:00～9:40	9:40～11:30
	出席調査及び諸準備	面接

6 選抜の方法

- (1) 特別支援学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。
- (2) 特別支援学校長は、志願者について、調査書等の資料及び面接等の結果に基づいて合格者を決定する。

7 合格者の発表

平成31年3月18日(月)午後0時30分に、各志願先特別支援学校において受検番号で行う。

8 第2次選抜

富山県教育委員会は、第1次選抜合格者の発表後、第2次選抜を行う学校及び募集人員を決定し、平成31年3月18日(月)に発表する。

9 その他

- (1) 志願に当たって必要な書類は、志願者の保護者の申請により、志願先特別支援学校長から保護者に送付する。

別表3

平成31年度富山県立特別支援学校幼稚部募集人員等

学校名	障害種別	学年	募集人員	志願資格	入学検査内容
富山視覚総合支援学校	視覚障害	3歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者で、満3歳の者	面接
		4歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者で、満4歳の者	
		5歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障害者で、満5歳の者	
富山聴覚総合支援学校	聴覚障害	3歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満3歳の者	面接
		4歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満4歳の者	
		5歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満5歳の者	
高岡聴覚総合支援学校	聴覚障害	3歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満3歳の者	面接
		4歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満4歳の者	
		5歳児	若干名	学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障害者で、満5歳の者	

平成31年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項新旧対照表

平成30年度(旧)		平成31年度(新)	
<p>第1 高等部A日程の第1次選抜</p> <p>4 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) 県外及び海外からの志願者は、2に定める志願資格を有する者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。(略)</p> <p>(8) (略)</p>	<p>第1 高等部A日程の第1次選抜</p> <p>4 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) 県外及び海外からの志願者は、学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障害者のうち、公共交通機関等を利用して自力通学がてまざる等障害の程度が軽度の者かつ県外及び海外の中学校又は特別支援学校中等部を平成31年3月までに卒業する見込みの者、卒業した者又はこれに準ずる者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校のいずれにも在籍していない者で、次の条件のいずれかを備えていることを証明し、富山県教育委員会の許可を受けなければならない。(略)</p> <p>(8) (略)</p>	<p>第2 高等部A日程の第2次選抜</p> <p>4 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) (略)</p>	<p>第2 高等部A日程の第2次選抜</p> <p>4 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) (略)</p>
<p>第3 高等部B日程の第1次選抜</p> <p>3 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) (略)</p>	<p>第3 高等部A日程の第1次選抜</p> <p>3 志願の方法</p> <p>(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p>(7) (略)</p>	<p>第4 高等部B日程の第2次選抜</p> <p>3 志願期間</p> <p>平成30年3月16日(金)から3月19日(月)までの間(日曜日及び土曜日を除く)。毎日午前9時から午後4時までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、3月19日(月)午後4時までに志願先特別支援学校に必着とする。</p>	<p>第4 高等部B日程の第2次選抜</p> <p>3 志願期間</p> <p>平成31年3月19日(火)及び3月20日(水)の、毎日午前9時から午後4時までとする。郵送による出願の場合は、書留速達とし、3月20日(水)午後4時までに志願先特別支援学校に必着とする。</p>
<p>※ 年度、月日、曜日、本文中の様式番号の変更を除く。</p>		<p>備考</p> <p>・必須としているのは教育相談であるため「等」を削除するもの</p> <p>・「2」に定める志願資格を有するもの」に該当する内容を具体的に記載するもの</p> <p>・必須としているのは教育相談であるため「等」を削除するもの</p> <p>・必須としているのは教育相談であるため「等」を削除するもの</p> <p>・今年度は土日を挟まないで削除したもの</p>	

別表2 平成30年度富山県立特別支援学校高等部B日程募集人員(定員)等

学校名	学科等	障害種別	募集人員 修業年限	志願資格	入学検査内容		
富山視覚総合支援学校	普通	視覚	(略)	(略)	(略)		
		病弱	(略)	(略)	(略)		
	保健医療	理療	視覚	(略)	(略)	(略)	
			視覚	(略)	(略)	(略)	
		専攻科	保健医療	(略)	(略)	(略)	
	産業工芸	生活情報	聴覚	(略)	(略)	(略)	
			聴覚	(略)	(略)	(略)	
		機械	聴覚	(略)	(略)	(略)	
			産業工芸	聴覚	(略)	(略)	(略)
				生活情報	聴覚	(略)	(略)
専攻科	機械	聴覚	(略)	(略)	(略)		
		聴覚	(略)	(略)	(略)		

別表2 平成31年度富山県立特別支援学校高等部B日程募集人員(定員)等

学校名	学科等	障害種別	募集人員 修業年限	志願資格	入学検査内容		
富山視覚総合支援学校	普通	視覚障害	(略)	(略)	(略)		
		病弱	(略)	(略)	(略)		
	保健医療	理療	視覚障害	(略)	(略)	(略)	
			視覚障害	(略)	(略)	(略)	
		専攻科	保健医療	(略)	(略)	(略)	
	産業工芸	生活情報	聴覚障害	(略)	(略)	(略)	
			聴覚障害	(略)	(略)	(略)	
		機械	聴覚障害	(略)	(略)	(略)	
			産業工芸	聴覚障害	(略)	(略)	(略)
				生活情報	聴覚障害	(略)	(略)
専攻科	機械	聴覚障害	(略)	(略)	(略)		
		聴覚障害	(略)	(略)	(略)		

・障害種別を「視覚」「聴覚」等と略して表記していただくものを、略さず明記するもの

高岡聴覚総合支援学校									
機械	聴覚	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活情報	聴覚	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	知的	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	知的・肢体	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	知的	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
高岡聴覚総合支援学校	にいかわ総合支援学校								しらとり支援学校

高岡聴覚総合支援学校									
機械	聴覚	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活情報	聴覚	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	知的障害 肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
高岡聴覚総合支援学校	にいかわ総合支援学校								しらとり支援学校

高岡支援学校			(略)	(略)	(略)
産業	知的	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	知的	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術		(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化		(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	知的・肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
となみ総合支援学校			(略)	(略)	(略)

高岡支援学校			(略)	(略)	(略)
産業	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術		(略)	(略)	(略)	(略)
産業技術	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化		(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	肢体不自由・知的障害	(略)	(略)	(略)	(略)
となみ総合支援学校			(略)	(略)	(略)

産業工芸	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)
普通	肢体不自由	(略)	(略)	(略)	(略)
普通	病弱	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	病弱	(略)	(略)	(略)	(略)

富山総合支援学校

高志支援学校

ふるさと支援学校

特別支援学校中学部を平成31年3月卒業見込みの者のうち、国立病院機構富山病院に入院している者若しくは入院する見込みの者又は通院している者若しくは通院する見込みの者で、次の(1)～(2)のいずれかに該当する者
ただし、通院については、国立病院機構富山病院が放課後等デイサービス事業を実施する場合には、同事業を利用している者又は利用する見込みの者に限る。
(1) 訪問教育を受けており、引き続き訪問教育を必要とする者
(2) 障害の重度・重複化により通学が困難になり、訪問教育が必要になると見込まれる者

・通院の対象としていた「児童発達支援事業」は、現在未就学児を対象としていたため、高等部の生徒を対象としていた「放課後等デイサービス事業」の利用者とするもの
また、富山病院が放課後等デイサービス事業を実施するかどうかは、年度によって異なる恐れがあるため、「実施する場合」に限定するもの

・必須としているのは教育相談であるため「等」を削除するもの

産業工芸	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
生活文化	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
普通	肢体	(略)	(略)	(略)	(略)
普通	病弱	(略)	(略)	(略)	(略)
訪問教育	病弱	(略)	(略)	(略)	(略)

富山総合支援学校

高志支援学校

ふるさと支援学校

特別支援学校中学部を平成30年3月卒業見込みの者のうち、国立病院機構富山病院に入院・通院している者又は入院・通院する見込みの者で、次の(1)～(2)のいずれかに該当する者
ただし、通院については、児童発達支援事業の利用者
(1) 訪問教育を受けており、引き続き訪問教育を必要とする者
(2) 障害の重度・重複化により通学が困難になり、訪問教育が必要になると見込まれる者

第5 幼稚部
3 志願の方法
(1) 志願に当たっては、事前に志願先特別支援学校の入学者選抜のための教育相談等を受けるものとする。
(2) (略)
(3) (略)

「富山県教育フォーラム」の開催について

「富山県教育フォーラム」を下記のとおり開催し、併せて「とやま科学オリンピック2018」の入賞者への授賞式を行います。

記

1 目的

次代を担う子供たちの科学に対する関心を高め、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、多くの子供たちが持っている様々な力や可能性を喚起する機会を提供するとともに、県民の幅広い科学教育への関心を高めるため開催するもの

2 名称 「富山県教育フォーラム」～科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進～

3 フォーラム概要

(1) 日時 平成30年12月15日(土) 13時30分～15時35分

(2) 会場 富山国際会議場 3階メインホール

(3) 主催 富山県 富山県教育委員会

(4) 参加者 約800名

(とやま科学オリンピック入賞者・参加者、保護者、教育関係者ほか)

(5) 日程等

13:30～13:40 **開会の挨拶** 知事

13:40～14:00 **「とやま科学オリンピック」授賞式(金賞)**

知事より授与 ※入賞者数は別紙のとおり

14:05～14:25 **「とやま科学オリンピック」授賞式(銀賞、銅賞、特別賞)**

教育長、教育次長より授与 ※入賞者数は別紙のとおり

14:35～15:35 **講演**

・講師 ISS(国際宇宙ステーション)第44次/第45次長期滞在クルー
JAXA宇宙飛行士グループ長
油井 亀美也 氏

・演題 (仮)宇宙へのあこがれ - 追い続けた宇宙で感じたこと -

15:35 **閉会**

「とやま科学オリンピック2018」入賞者数及び表彰について

部門		参加者数	金賞	銀賞	銅賞	特別賞	合計
小学校部門		327人	10人	22人	63人	1人	96人
中学校部門		523人	12人	35人	91人	1人	139人
高校部門	数学	76人	2人	4人	15人	該当なし	21人
	物理	56人 (28チーム)	2人 (1チーム)	4人 (2チーム)	12人 (6チーム)	2人 (1チーム)	20人 (10チーム)
	化学	134人 (67チーム)	4人 (2チーム)	12人 (6チーム)	24人 (12チーム)	2人 (1チーム)	42人 (21チーム)
	生物	74人 (37チーム)	2人 (1チーム)	6人 (3チーム)	12人 (6チーム)	2人 (1チーム)	22人 (11チーム)
合計		1,190人	32人	83人	217人	8人	340人

表彰基準 …… 各部門各分野とも参加者の概ね上位30%を上位入賞者として表彰。

金賞 …… 賞状及び副賞(図書カード1万円)

銀賞 …… 賞状及び副賞(図書カード5千円)

銅賞 …… 賞状及び副賞(図書カード2千円)

特別賞 …… 上位入賞とはならなかった者の内、各分野(高校部門においては、各設問等)において、特に優れた成績を収めた者
賞状及び副賞(図書カード2千円)

※ チームでの参加者には、一人一人に賞状及び副賞を授与する。

平成30年度「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの結果について

県内の小学5、6年生を対象に実施した平成30年度「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの結果を下記のとおり報告します。

記

1 趣 旨

富山県の自然、歴史や文化、産業などへの理解を深めつつ、本県ゆかりの偉大な先輩たちの足跡を学び、共感することを通じて、自らのロールモデルを見出し、夢に向かってチャレンジする子供たちの育成をめざす。

また、今年は大伴家持生誕1300年にあたることから、大伴家持生誕1300年記念事業と連携し、大伴家持の功績の普及啓発を図る。

2 公募状況及び審査結果

(1) 応募総数 2,577点 (5年生1,009点、6年生1,568点)
参考 H29:2,406点 (5年生1,041点、6年生1,365点)

(2) 審査結果 各学年 知事賞1点、家持青少年特別賞1点、
優秀賞3点、優良賞3点、入選8点
・「家持青少年特別賞」は今年度のみ設置
・入賞作品31点の内10点が大伴家持を題材とした作品 (H29:0点)

(3) 知事賞・家持青少年特別賞の受賞作品 (入賞者は別添のとおり)

学年	賞	題名	学校	名前	題材
5年	知事賞	あこがれを力に	富山市立三郷小学校	塩原 唯翔	大野ヨリ
	家持青少年特別賞	大伴家持と高岡	富山市立桜谷小学校	島田 結生	大伴家持
6年	知事賞 家持青少年特別賞	言葉と共に生きる	高岡市立福岡小学校	上田 幸穂	大伴家持

3 経過

(1) 作品募集 6月1日(金)～9月18日(火)

(2) 検討委員会 第1回 9月21日(金)
第2回 9月28日(金)

4 表彰式について

10月29日(月) 15:20～16:10 高志の国文学館
「高志の国文学」情景作品コンクールと併せて表彰する予定です。

平成30年度「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクール入賞者一覧

小学5年生

	学校名	氏名	ふりがな	性別	作品名
富山県知事賞	富山市立三郷小学校	塩原 唯翔	しおはら ゆいと	男	あこがれを力に
富山県知事賞 奨励賞少年特別賞	富山市立桜谷小学校	島田 結生	しまだ ゆう	女	大伴家持と高岡
優秀賞	富山市立長岡小学校	土田 暖大	つちだ はると	男	ふるさとに尽くした「ミスター新幹線」
優秀賞	高岡市立木津小学校	石岡 輝大	いしおか こうだい	男	安田善次郎さんから学んだこと
優秀賞	富山市立音川小学校	中山 春香	なかやま はるか	女	棟方志功さんと私の夢
優良賞	高岡市立戸出西部小学校	吉田 姫都	よしだ きさと	女	かたかごの花
優良賞	上市町立上市中央小学校	齊藤 哲也	さいとう てつや	男	大伴家持から知る富山のみ力
優良賞	黒部市立中央小学校	村椿 大輔	むらつばき だいすけ	男	ぼくの挑戦
入選	砺波市立砺波南部小学校	豊川 凜翔	とよかわ りんと	男	努力は自分でつくる
入選	高岡市立木津小学校	湯浅 友尋	ゆあさ ともひろ	男	世界の人々のくらしを便利にした吉田忠雄
入選	射水市立小杉小学校	円酒 和磨	えんしゅ かずま	男	日本一の大商人になった安田善次郎
入選	射水市立小杉小学校	中野 伶菜	なかの れいな	女	しょう来の夢につながる人～林 忠正～
入選	射水市立小杉小学校	長井 暖和	ながい はると	男	大伴家持氏の人生から学んだこと
入選	射水市立小杉小学校	小林 和歌	こばやし わか	女	富山の豊かな自然に生きる
入選	富山市立水橋西部小学校	金川 晃大	かねがわ こうだい	男	鉄道の父、大矢四郎平衛に学ぶ
入選	富山市立草島小学校	島倉 実愛	しまくら みあい	女	富山の先人から学んだこと

小学6年生

	学校名	氏名	ふりがな	性別	作品名
富山県知事賞 奨励賞少年特別賞	高岡市立福岡小学校	上田 幸穂	うえだ さちほ	女	言葉と共に生きる
優秀賞	立山町立立山小学校	中谷 優月	なかたに ゆづき	女	こつこつ努力できるように
優秀賞	高岡市立東五位小学校	吉岡 成	よしおか なる	男	五十嵐篤好に学ぶ三つのこと
優秀賞	高岡市立中田小学校	山村 一葉	やまむら いちよう	女	越中万葉にふれて
優良賞	富山市立桜谷小学校	水尾 直暉	みずお、なおき	男	松村謙三さんから学んだこと
優良賞	高岡市立古府小学校	末廣 和奏	すえひろ わかな	女	大伴家持とふるさと
優良賞	高岡市立博労小学校	中村 真結	なかむら まゆ	女	富山のすばらしさを教えてくれた人
入選	高岡市立定塚小学校	林 優奈	はやし ゆな	女	好奇心をもち続けて～高峰譲吉に学ぶ～
入選	高岡市立東五位小学校	吉田 啓人	よしだ ひろと	男	東五位のほこり五十嵐篤好
入選	射水市立小杉小学校	黒川 倫叶	くろかわ りんと	男	大伴家持から学んだ三つのこと
入選	富山市立宮野小学校	井上 愛翔	いのうえ まなと	男	佐伯有頼から学んだこと
入選	南砺市立井波小学校	佐竹 智英	さたけ ともひで	男	七蔵さんから学んだ考える大切さ
入選	富山市立岩瀬小学校	山本 愛来	やまもと あいら	女	ふるさとのすぐれた先人「椎名道三」
入選	富山市立熊野小学校	広瀬 美優	ひろせ みゆう	女	思いやりの気持ち
入選	富山市立西田地方小学校	千田 基衣	せんた もとい	女	ふるさとに受けつがれる心

○「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクール応募状況について

()内の数字は大伴家持を題材とした作品数

年度	学校からの応募総数			推薦数			富山県知事賞	家持青少年特別賞	優秀賞	優良賞	入選
	5年生	6年生	計	5年生	6年生	計			教育委員長賞	ふるさと教育推進協議会会長賞	
30年度	1009 (173)	1568 (296)	2577 (469)	87 (25)	131 (43)	218 (68)	2 (1)※	2 (2)	6 (1)	6 (4)	16 (3)
29年度	1041	1365	2406	74	100	174	2		4	4	10
28年度	1119	1495	2614	76	100	176	2		4	4	10
27年度	1075	1186	2261	78	91	169	2		4	4	10
26年度	1513	1488	3001	88	111	199	2		4	4	10
25年度	1075	1445	2520	76	103	179	2		2	2	14
24年度	1886	2588	4474	182	229	411	2		2	2	18
23年度	1707	2737	4444	183	265	448	2		2	2	20
22年度	1360	1851	3211	134	195	329	2		2	2	14

※家持青少年特別賞もダブル受賞

参考：今後のスケジュール

●表彰式

10月29日(月)高志の国文学館研修室101

出席者：知事賞、家持青少年特別賞、優秀賞、優良賞受賞者

※「高志の国文学」情景作品コンクール(生涯学習・文化財室)と合同で行う。

平成 30 年度「高志の国文学」情景作品コンクールの結果について

県内の中学生・高校生を対象に、「高志の国文学」に親しみ、郷土を一層深く理解しようとする機運を高めることを目的に、今年度は大伴家持生誕 1300 年記念事業と位置づけ、新たに「生誕 1300 年記念大伴家持青少年特別賞」（以下「家持青少年特別賞」）を創設し実施した「高志の国文学」情景作品コンクールの結果を報告します。

記

1 審査結果等

- (1) 応募総数 2,937 点（文芸 2,438 点、美術 191 点、写真 308 点）
参考 H29 : 1,681 点（文芸 1,258 点、美術 134 点、写真 289 点）
- (2) 入選点数 77 点（知事賞 6 点、家持青少年特別賞 6 点、金賞 8 点、銀賞 16 点、銅賞 24 点、佳作 17 点）
・「家持青少年特別賞」は、今年度のみ設置
・入選作品の内 17 点が大伴家持（万葉集）を題材とした作品（H29:7 点）
- (3) 知事賞・家持青少年特別賞の受賞作品（別紙 2）（入選作品一覧は、別紙 1）

部門	賞	題名	学校	学年	名前	題材	
文芸	知事賞	中学生	トランクは四次元ポケット	射水市立小杉中学校	3	高堂 好花	まんが道
		高校生	ふるさとへの思い	高岡高等学校	2	亀遊 堯子	人生の約束
	家持青少年特別賞	中学生	立山	富山市立西部中学校	3	平井 優衣	万葉集
		高校生	雪国に暮らして	高岡高等学校	2	立野 野の花	万葉集
美術	知事賞	中学生	戦争を知らない私たち	富山市立堀川中学校	2	立浪 海優	八月二日、天まで焼けた
		高校生	過去の恩恵	富山中部高等学校	1	佐藤 胡桃	劔岳
	家持青少年特別賞	中学生	越の海の荒磯	富山市立堀川中学校	2	柴原 世奈	万葉集
		高校生	落日の故郷	富山中部高等学校	2	東 隼太郎	万葉集
写真	知事賞	中学生	思い出	富山市立速星中学校	2	松井 志濃	恋仲
		高校生	日常	富山中部高等学校	1	伊藤 帆咲	RAILWAYS
	家持青少年特別賞	中学生	雨の日の神社	富山市立速星中学校	2	吉田 真唯	映画「人生の約束」(万葉集ゆかりの地)
		高校生	奈呉の浦より君想う	富山中部高等学校	1	津田 桜香	万葉集

- (4) 審査委員 中井精一富山大学人文学部教授（委員長）
金山嘉宏ミューゼふくおかカメラ館館長
中川美彩緒富山県水墨美術館館長 ほか
中文連、高文連の代表教諭など 11名

2 経過

6月 1日（金）～9月7日（金） 作品募集
9月26日（水） 審査委員会

3 今後の予定

10月25日（木）～ 高志の国文学館にて展示
10月29日（月） 表彰式（高志の国文学館）

平成30年度「高志の国文学」情景作品コンクール入賞作品一覧表

○文芸部門

賞		題名	部門	学校	学年	名前	題材		
知事賞	中学生	トランクは四次元ポケット	散文	射水市立小杉中学校	3	高堂 好花	まんが道		
	高校生	ふるさとへの思い	散文	高岡高等学校	2	亀遊 堯子	人生の約束		
家持青少年特別賞	中学生	立山	詩	富山市立西部中学校	3	平井 優衣	万葉集		
	高校生	雪国に暮らして	散文	高岡高等学校	2	立野 野の花	万葉集		
金賞	中学生	タイムトラベラー 大伴家持	散文	富山市立北部中学校	3	柳瀬 優衣	万葉集		
		田中冬二(詩人)のふるさと生地を訪ねて	俳句	黒部市立桜井中学校	2	板澤 しほ	ふるさとにて(詩)		
	高校生	弥栄節	詩	高岡工業高等学校	3	藤森 ゆうか	弥栄節		
		巴御前	短歌	高岡南高等学校	2	成瀬 詩穂	万葉集		
銀賞	中学生	大伴家持が詠んだ越中万葉	散文	富山市立速星中学校	2	山屋 結佳	万葉集		
		雪月花	詩	富山市立速星中学校	2	大井 七菜子	万葉集		
		大伴家持の短歌によせて	短歌	射水市立新瀬南部中学校	2	浦上 裕貴	万葉集		
		「劔岳 点の記」を鑑賞して	短歌	片山学園中学校	1	朝日 峻太	劔岳<点の記>		
	高校生	おばあちゃんの秘め事	散文	高岡高等学校	2	大坪 久茉莉	おおかみこどもの雨と雪		
		私を変えてくれた本	散文	富山西高等学校	1	金澤 来瑠未	おおかみこどもの雨と雪		
		立山のめぐみ	短歌	呉羽高等学校	1	浅野 滉太	風の盆恋歌		
		無題	俳句	富山南高等学校	2	黒田 美都	劔岳渴仰		
		銅賞	中学生	「おおかみこどもと雨と雪」を見て	散文	富山市立北部中学校	3	小西 葉留菜	おおかみこどもの雨と雪
				身近な宝物	散文	富山市立北部中学校	3	田伏 楓奈	万葉集
「富山の昔話」を読んで	散文			富山市立興南中学校	1	今江 裕太郎	富山の昔話		
大伴家持の短歌によせて	短歌			射水市立新瀬南部中学校	2	渡辺 陽与	万葉集		
月夜に浮かぶおわらへの熱き思い	短歌			富山市立速星中学校	2	小西 穂乃花	月影ベイベ		
劔岳<点の記>を読んで	俳句			片山学園中学校	2	田尻 真一朗	劔岳<点の記>		
高校生	「つながり」でつながる未来		散文	高岡高等学校	2	前田 野乃葉	サマーウォーズ		
	しんきろう		詩	高岡南高等学校	2	中谷 梨湖	ドラえもん		
	おおかみこども、青春を行く		詩	滑川高等学校	1	藤縄 隼弥	おおかみこどもの雨と雪		
	無題		短歌	八尾高等学校	3	荒山 奈優	万葉集		
佳作	中学生	海	短歌	富山高等学校	1	柴山 志穂	万葉集		
		友愛	俳句	大門高等学校	1	中川 葉月	人生の約束		
		心と人間	詩	富山市立速星中学校	2	浅野 天	バケモノの子		
		自分探しの旅	詩	富山市立速星中学校	2	田中 美咲	おおかみこどもの雨と雪		
	高校生	「おおかみこどもと雨と雪」を観て	短歌	射水市立小杉中学校	3	石井 春名	おおかみこどもの雨と雪		
		無題	短歌	富山市立北部中学校	3	田近 志織	劔岳<点の記>		
		「未来のミライ」を見て	散文	富山高等学校	1	川岸 胡春	未来のミライ		
		帰省	詩	高岡南高等学校	2	井出 莉咲	ドラえもん		
		あの日	短歌	富山高等学校	1	種本 菜	少年時代		
		無題	短歌	八尾高等学校	3	四柳 葉優	万葉集		

※ 文芸部門は、知事賞、家持青少年特別賞を除き、「散文・詩」「短歌・俳句」の区分ごとに賞を設定

○美術部門

賞		題名	学校	学年	名前	題材
知事賞	中学生	戦争を知らない私たち	富山市立堀川中学校	2	立浪 海優	八月二日、天まで焼けた
	高校生	過去の恩恵	富山中部高等学校	1	佐藤 胡桃	劔岳
家持青少年特別賞	中学生	越の海の荒磯	富山市立堀川中学校	2	柴原 世奈	万葉集
	高校生	落日の故郷	富山中部高等学校	2	東 隼太郎	万葉集
金賞	中学生	内川	高岡市立芳野中学校	3	林岸 主真	人生の約束
	高校生	知らでや雪の白く降るらん	滑川高等学校	3	島田 幸苗	富山の伝説
銀賞	中学生	明りとおわら	富山市立速星中学校	3	高土井 葉月	月影ベイベ
		紅葉の黒部峡谷	富山市立堀川中学校	2	石田 康一郎	黒部峡谷
	高校生	茜色に沈む	富山中部高等学校	2	大城 温美	とやまの癒やしパワースポット
		ホテルたちと見る夢	富山中部高等学校	2	志鷹 雄飛	とべないホテル
銅賞	中学生	私が描くドラえもん	富山市立速星中学校	3	高松 夏鈴	ドラえもん
		ブラックラーメン	富山市立速星中学校	3	前口 ちひろ	富山なぞ食探検
		成長	富山市立堀川中学校	3	砂澤 太壱	おおかみこどもの雨と雪
	高校生	ホテルイカ	高岡第一高等学校	2	川下 莉奈	富山湾を科学する
		約束の地	富山西高等学校	3	米道 美紀	真白の恋
		獅子舞	富山北部高等学校	1	内島 菜穂	獅子舞ボーイズ
佳作	中学生	青春と鏡	富山市立速星中学校	1	大岩 真悠	アオハライド
		おわらの町並	富山市立速星中学校	1	坪坂 帆葉	月影ベイベ
		立山にたたずむ壮大な鏡	富山市立堀川中学校	3	平井 理沙	おおかみこどもの雨と雪
	高校生	森をぬけたら	小杉高等学校	1	高木 菜名	おおかみこどもの雨と雪
		立山の空	富山北部高等学校	1	勝田 愛優	登山と人生
共存	富山北部高等学校	2	中田 麗	おおかみこどもの雨と雪		

○写真部門

賞		題名	学校	学年	名前	題材
知事賞	中学生	思い出	富山市立速星中学校	2	松井 志濃	恋仲
	高校生	日常	富山中部高等学校	1	伊藤 帆咲	RAILWAYS
家持青少年特別賞	中学生	雨の日の神社	富山市立速星中学校	2	吉田 真唯	映画「人生の約束」(万葉集ゆかりの地)
	高校生	奈呉の浦より君想う	富山中部高等学校	1	津田 桜香	万葉集
金賞	中学生	日本一の黒部ダム	小矢部市立津沢中学校	3	和世 貴都	黒部の太陽
	高校生	匠(たくみ)の技	富山高等学校	1	恒田 瀬奈	越中の伝説
銀賞	中学生	自然豊かな環水公園	小矢部市立津沢中学校	3	飯原 凌馬	映画「アオハライド」
		富山が誇る「ドラえもん」	小矢部市立津沢中学校	3	山本 将典	ドラえもん
	高校生	自然の展望台からやっほ～	泊高等学校	2	前田 朱里	富山わがまちここ一番
銅賞	中学生	迎え	富山東高等学校	2	橋本 怜奈	富山廃線紀行
		ドラえもんの広場	小矢部市立津沢中学校	3	沼田 晃士朗	ドラえもん
		無題	小矢部市立津沢中学校	3	辻 元太	風の盆恋歌
	高校生	チューリップの向こうに	氷見市立西條中学校	3	五十嵐 桜子	万葉集
		ひこうき雲	呉羽高等学校	1	大坪 芙羽	おおかみこどもの雨と雪
佳作	高校生	緑輝く	高岡第一高等学校	3	砂川 未羽	街道をゆく 四
		桜と・・・	泊高等学校	2	扇谷 優依	富山わがまちここ一番
		お空の入り口	泊高等学校	2	三田 華音	富山わがまちここ一番
佳作	高校生	限りなく続く道	富山中部高等学校	1	土屋 詠子	劔岳点の記
		静かな小屋で	富山東高等学校	2	中川 莉那	沈黙の森

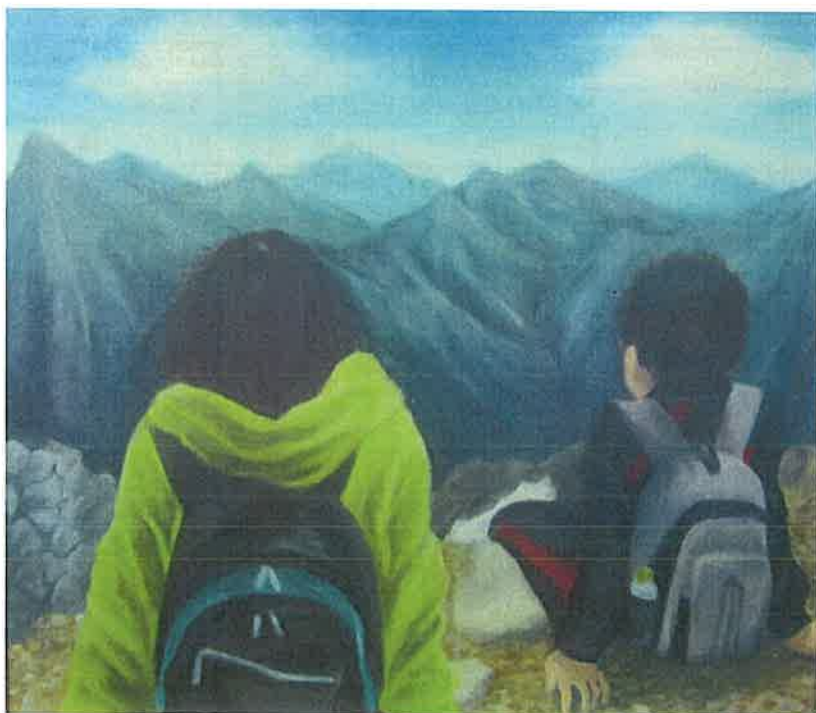
美術部門（中学生の部）知事賞



「戦争を知らない私たち」

題材：八月二日、天まで焼けた
富山市立堀川中学校2年 立浪 海優

美術部門（高校生の部）知事賞



「過去の恩恵」

題材：劔岳
富山県立富山中部高等学校1年 佐藤 胡桃

美術部門（中学生の部）家持青少年特別賞



「越の海の荒磯」

題材：万葉集

富山市立堀川中学校2年 柴原 世奈

美術部門（高校生の部）家持青少年特別賞



「落日の故郷」

題材：万葉集（奈具の浦 万葉集ゆかりの地）

富山県立富山中部高等学校2年 東 隼太郎

写真部門（中学生の部） 知事賞



「思い出」

題材：恋仲

富山市立速星中学校2年 松井 志濃

写真の部（高校生の部） 知事賞



「日常」

題材：RAILWAYS

富山中部高等学校1年 伊藤 帆咲

写真の部（中学生の部）家持青少年特別賞



「雨の日の神社」

題材：映画「人生の約束」（万葉集ゆかりの地）

富山市立速星中学校 2年 松井 志濃

写真の部（高校生の部）家持青少年特別賞



「奈呉の浦より君想う」

題材：万葉集

富山県立富山中部高等学校 1年 津田 桜香

文芸部門（中学生の部） 知事賞

トランクは四次元ポケット

題材『まんが道』

射水市立小杉中学校三年 高堂 好花

前略、藤子・F・不二雄先生。私はこの夏、高岡美術館のふるさとギャラリーを訪れ、私と同世代だったころの先生の心に想いを馳せることができました。展示されていた生の原稿を見て、その繊細さに心が奪われました。また十四歳で制作された手作り冊子、「妖怪島」では、その完成度の高さに驚きました。まるで売られている本物の雑誌のように作られており、思わず足を止めて読み入っていました。

しかし、最も印象に残ったのは、先生がまんが家を夢見て上京したときのトランクです。以前、まんが道を読んだときは、もう少し大きいトランクだと思っていましたが、実物はまんが道具しか入らないような小さな小さなトランクでした。この小さなトランクにまんが道具だけ詰め込んで富山を旅立った先生。しかし、目には見えない、先生の夢や希望も詰め込まれて、とても重かったのではないのでしょうか。

先生は、「自分のはび太だ。」と言っておられたそうですね。ケンカも弱く、運動も得意ではない先生は、確かにのび太そっくりかもしれません。けれど、先生はドラえもんだと思います。上京されて、多くの失敗や努力を積み重ねて、まんが家として成功された先生は、たくさんのキャラクターを生み出されました。パーマン、キテレツくん、オバケのQ太郎、ドラえもん……。これらを知らずに大きくなる子どもはいません。私もドラえもんを夢中になって読んで、出てくる道具にワクワクしました。そして、これらのキャラクターは私だけでなく、私の両親の心の中や、今の子どもたちの心の中で、先生が亡くなってしまわれてからも、変わらず生き続け親しまれています。そしてこれからも受け継がれていくことに違いありません。タイムマシーンはないけれど、キャラクターが、現在、過去、未来……自由に行き来をし、それらをつないでいることはとても素晴らしいことだと思います。

先生は、自分をのび太だと言われるけれど、やはり私にとって先生はドラえもんで、たくさんのキャラクターを生み出した先生のトランクは四次元ポケットに見えてくるのです。

先生がトランクをもって上京する姿を想像するとき、トランクからのび太やドラえもんの歌の歌詞に「ジャラジャラ 僕の心に いっまでも輝く夢 ドラえもん そのポケットで かなえさせてね」とありますが、先生はこのトランクでみんなの夢を叶えてくれますね。やはり先生は、私たちのリアルなドラえもんです。

私は、中学三年生で、これから進路を選択していかなければなりません。先生は、ひたむきにまんが道を突き進まれましたが、私の道はまだぼんやりしています。私の道がはっきりした時、私も先生のようなまっすぐな情熱をもち、突き進んでいけるよう頑張ります。そして私も誰かに夢を与えられるドラえもんになれば嬉しいですね。

早々

文芸部門（高校生の部） 知事賞

ふるさとへの思い

題材『人生の約束』

高岡高等学校二年 亀遊 堯子

この夏、私は地理の課題で、「二〇一八射水のみなど学習講座」(第一回)に参加した。映画「人生の約束」や「あなたへ」等のロケ地で知られ、多くの俳優たちが訪れる「内川」を、一度この目で見て、なぜこの地域が「日本のベニス」と呼ばれ、多くの映画やドラマのロケ地として利用されるのを知りたいと思ったからである。

高岡市街から万葉線を利用し、内川に到着すると、突然、目の前に映画やテレビで観た光景が広がった。「人生の約束」で観た曳山祭りの場面、テレビドラマ「恋仲」で主人公が花火を見る場面など、名シーンが鮮やかに蘇ってきた。また、海から心地よい潮風が吹き、潮の香りを胸いっぱい吸い込むと、まるで自分が映画やドラマの中にいるような気分になり、本当にここが舞台になったのだと少し誇らしい気持ちになった。

学習活動では、観光ボランティア「あゆの風」の方々の案内で周辺を散策し、内川の歴史を学んだ。庄川と越の潟をつなぐ内川は、かつては港であり、川幅も広がった。今は、富山新港がその役目を果たしており、内川の両岸は埋め立てられた。また、内川に架かる十五本の橋には、北前船をイメージした中新橋や、江戸時代の大火を教訓に架けられた湊橋(お助け橋)などがあり、それらの景観の美しさから「日本のベニス」と呼ばれているという。

川沿いには、かつての港町を彷彿とさせる建物が数多く残されていた。船で運んだ荷物を保管する内蔵がどの家にもあり、古くて頑丈な原型を今でもとどめていた。また、寺院や神社、地蔵が多く見られたが、それは、漁師の安全や大漁を祈願し、川での水難事故がないよう祈りをささげるためだった。神社の中には、鳥居の高さが極端に低いものもあった。それは、船の中から参拝するのに適した高さにするためであり、家族の安全を願う

気持ちは今も昔も変わらないことに胸を打たれた。

最も印象に残っているのは、「時代の変化への対応」である。かつてどの家にもあった内蔵は、港町でなくなった今、カフェや着物などの店舗や、トイレ等に再利用されている。昔の家の造りにあまり手を加えず、どこか懐かしく落ちついた空間になっており、地元の人々だけでなく、観光客もふらっと立ち寄りたくなる温もりを感じた。また、昔は漁で用いられていたが、今はプラスチック製に代わり、不要になったガラス製の浮き玉は、屋内の照明や、インテリア、ストラップとして新たな生命が吹きこまれ、美しく輝いていた。

真夏の日差しが照りつける中、案内してくださった「あゆの風」の方々は、仕事ではなくボランティアで活動されていた。観光案内や掲示板、パンフレットなどに工夫を凝らしながら、一人でも多くの人に来てもらい、この美しさを見てほしい、内川の素晴らしさを発信したいという思いで、この活動を行っておられた。この地元の方々の、内川についての広い見識と、地元への深い愛着こそが、ロケ地誘致の成功のカギなのではないかと感じた。

映画「人生の約束」に出演された、俳優の西田敏行さんは、内川を見て、「素晴らしいセットだ。」とおっしゃったそう。もちろん、セットではない。地域の人々が大切に思い、昔の街並みを受け継ぎ、新たな時代にそれらを生かしてきたからこそ、美しく、素晴らしい街並みが、今ここにあるのだ。

社会が急激に変化するなか、こうした「ふるさとの宝物」をしっかりと守り、未来へ受け継いでいくのは、これから大人になる私たちの使命であると考える。ふるさとに愛情を抱き、その役目をしっかりと果たしながら、ふるさと富山のさらなる発展に貢献していきたい。

文芸部門（中学生の部）

家持青少年特別賞

立山

題材『万葉集』

富山西部中学校三年 平井 優衣

いにしえより

「神々の座」と崇めたる

若緑 残雪まとう

春の立山

濃き緑 夏雲背負う

夏の立山

紅に 色づき染まる

秋の立山

雪深き しんと静まる

冬の立山

遠くもあり 近くもある

美しき立山 今日も見ろ

文芸部門（高校生の部）

家持青少年特別賞

雪国に暮らして

題材『万葉集』

高岡高等学校二年 立野 野の花

私にとって、雪は孤独であった。

毛布の隙間から沁み込んでくる冷気に眠りをさまたれた早朝。まだ太陽は昇らないのに窓の外が妙に明るい。一晩で降り積もった雪があやしく光を放っているのだ。むきだしの足からもう無い熱を奪い去る廊下。つま先がしびれている。玄関から外を見ると、世界は白く塗り潰されていた。まるで神様が失敗したカンバスを白紙に戻そうとしているみたいなの光景だった。白紙、はくし、ハクション。くしゃみが虚しく響く。うるさいほどの静けさに今さら気付く。暗さに慣れた目に白が焼きつく。家族は皆死んだように眠っている。そのまっさらな世界はどこまでも白く、美しく、厳かで、何故か私に足を踏み入れてはいけないのだと直感させた。どこにも行けない。音もしない。全てを覆い隠し、隔絶する。それが私の知る雪だった。

しかし、大伴家持は、雪に私とはまったく違う姿を見てこう詠んだ。

新しき 年の初めは いや年に

雪踏み平し 常かくにもが

この歌は、「新しい年の初めは、毎年ずっと雪を踏みならして、いつもこうして集まりたいものです。」という意味だそう。

声が聞こえた。人々のにぎやかな話声。それと同時に小さい頃に祖母に作ってもらったココアの甘さと腹からじんわりしみわたる温かさを

思い出した。同じ雪国に暮らしていたのにこども違うのかと驚いた。この歌の中でも雪は冷たく、静かで、隔絶するもののみである。されどもそこで終わらない。雪が冷たいからこそ、人々は温もりを求め身を寄せ合おうとする。静かだからこそ他人の声がよく聞こえる。話はずむ。隔絶するからこそ会いに行けない人のことを思う。人は、私たちは、冬を何度もそうやって過ごしてきたのだから。千三百年も昔の大伴家持の時代から。いや、そのもつとずっと前のころから。そしてこれからも、人は寒さに弱いままでいるのだから。あれほどまで絶対的な美しさでたたずんでいた雪は、いともたやすく踏み荒らされ、完璧さを失っていた。だが、不思議とそれまでよりもきれいに見えた。真っ白な雪にくっきり残った足跡は、誰かの、誰かに会いたいという気持ちの軌跡だ。また雪が降り積もれば、もしくは雪が溶けてしまえばたちどころに消えてしまふ、儚く、でも確かな軌跡。その軌跡の重なりが雪を優しく見せた。

インターネットで誰とでも気軽につながってしまう現代では、人々は胸の奥に人恋しさを隠してしまうのではないか。画面上のつながりに安心できないのは実感が伴わないからじゃないか。いつでも連絡がとれる今だからこそ、自分の足で会いに行かなくちゃいけないんだと思う。

そういえば、ふわふわの新雪を踏みしめる瞬間のぎゅっという鈍い音は、いつでも私をワクワクさせる音だった。忘れていたけれど、あの足の裏に伝わる感触が、私は、大好きだった。

雪がもたらす幸福を、千三百年前から届いた三十一文字に教わった。はるか遠い昔でも人はつながりを求め、雪は淡々と降り積もっては溶けてゆく。そんな当たり前を、心の底から愛おしく思った。

第73回国民体育大会の結果について

1 大会（本大会）の概要

- (1) 会期 平成30年9月29日（土）～10月9日（火）
 (2) 会場 福井県【水泳「飛込・水球・アーティスティックスイミング」(石川県) 馬術(静岡県)】
 (3) 選手団 渋谷克人副団長以下 514名
 本部役員 18名（顧問3名含）
 監督 68名（選手兼任9名含む）
 選手 428名（成男128名、成女69名、少男143名、少女88名）

2 大会通算男女総合成績

区分	男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
			冬季大会		本大会			
	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
73回	966.5	22位	60.0	22位	906.0	22位	558.0	24位
72回	821.0	36位	67.0	19位	754.0	35位	500.0	32位
71回	988.5	21位	101.0	15位	887.5	21位	586.5	21位
70回	807.0	35位	60.5	20位	746.5	35位	425.0	37位
69回	830.5	33位	77.0	20位	753.5	35位	475.5	28位

3 大会の結果

(1) 本県の状況

- ① 男女総合得点は966.5点で、目標であった900点を上回り、総合順位20位台を達成した。上位入賞数は減ったが、少年や団体種目の活躍により、昨年を上回る結果となった。

優勝	上位入賞 (3位以上)	入賞 (8位以上)
4 (4)	13 (23)	64 (60)

※得点に関係しない競技別入賞等を除く、()はH29成績

- ② 優勝数は4つで、安定した試合運びで実力どおりの力を発揮した。東京オリンピックを見据え、更なる活躍に期待がもてる。
 ◎ハンドボール競技少年男子
 ◎ボート競技 少年男子ダブルスカル 中島、鎌田選手
 ○ウエイトリフティング成年男子+105kg級 スナッチ種目 村上 英士朗
 ○バドミントン競技成年男子トナミ運輸（三連覇）
 ※◎は、少年種別の優勝を表す。

- ③ 15年目を迎える「未来のアスリート発掘事業」修了生から12名の選手が入賞を果たした。第66回大会1期生修了生の入賞から、8年連続で入賞を果たした。
 ・松選手（山梨学院大学2年）・・・ホッケー競技成年女子5位
 ・森選手（九州共立大学1年）・・・陸上競技成年男子やり投げ8位
 ・中田選手（水橋高校3年）・・・カヌー競技少年女子カヤックシングル500m6位
 ・西永・沼田・石川選手（石動高校3年）
 ・高島選手（石動高校2年）
 ・沼田選手（石動高校1年）
 ・丸山選手（石動高校2年）
 ・石川・齊藤選手（石動高校1年）
 ・佐々木選手（高岡向陵高校1年）・・・ハンドボール競技少年女子5位

- ④ 成年種別では、ウエイトリフティングや自転車、ソフトテニス、フェンシング等の競技で、富山県在住の選手とともに、ふるさと登録選手の活躍が目立った。

(2) 他県の状況

	富山	石川	福井	新潟	長野
H30	22位	23位	1位	37位	13位
H29	36位	28位	7位	32位	18位
H28	21位	36位	18位	17位	19位

4 今後の対応

※H30国体開催

- (1) ボート、カヌー、ウエイトリフティングほか、今回活躍した競技団体においては、ジュニアからの一貫指導による選手強化体制が確立されている。全競技団体において、着実に効果的な強化策についての検証と改善を図る。
 (2) 優勝したハンドボール少年男子や準優勝のホッケー等の活躍については、フィジカル面、メンタル面の強化とともにコンディショニング等、チームをトータルでサポートする「TOYAMA アスリートマルチサポート事業」の代表的実践例であり、今後、他競技での拡充が期待される。

今後の教育委員会等の日程について

- 平成 30 年 11 月 9 日（金） 13:00 予定
 教育委員会 （教育委員会室）

